

新規開設施設について（令和2年度以降に開設されたもの）

※ 仙台市、さいたま市は令和2年度以降の新規開設施設はありませんでした。

札幌市

事業名	芸術の森地区新設小学校新築		事業年度(期間)	平成29年度～令和2年度
施設名	芸術の森小学校		開設年月日	令和3年4月1日
敷地面積	21,861.41㎡		建築面積	4,332.98㎡
			延床面積	8,621.82㎡
規模・構造	校舎棟：RC造 3階建 温室：アルミ合金造 平屋建 物置：RC造 平屋建 プール棟：木造 平屋建			
総事業費	3,347,594千円		(平成29年度～令和2年度)	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費		3,175,533千円	
総事業費(千円)	特定財源	国県支出金	776,155	
		地方債	2,000,000	
		その他	0	
	一般財源	571,439		
設置目的	芸術の森地区においては、常盤小学校、石山東小学校ともに児童数が減少していたことから、学校規模適正化に伴い、常盤小学校及び石山東小学校を閉校し統合校として芸術の森小学校を整備した。			
施設概要	<p>■校舎</p> <p>① 普通教室 14教室</p> <p>② 特別支援学級 2教室+プレイルーム</p> <p>③ 特別教室 理科室、家庭科室、図工室、第1・2音楽室、コンピューター室、（左記各準備室）、図書室、特別活動室、生活科室、教育相談室</p> <p>④ 多目的室 視聴覚対応、ランチ対応、少人数対応</p> <p>⑤ 管理諸室 校長室、職員室、事務室、印刷室、保健室、用務員室、放送室、会議室、教材室、物品庫、職員更衣室（男女別）</p> <p>⑥ その他 PTA室、ポンプ室、機械室、給食室、配膳車置場、エレベーター、トイレなど</p> <p>■屋内運動場（体育館）</p> <p>アリーナ、器具庫、更衣室（男女別）、体育準備室、開放用玄関、指導員控室、開放用トイレ、備蓄庫</p> <p>■プール施設</p> <p>■児童会館</p> <p>玄関、事務室、遊戯室（プレイルーム）、集会室、クラブ室、図書コーナー、トイレ、水飲み場、収納</p> <p>■多目的ホール</p> <p>■屋外環境施設</p> <p>グラウンド用屋外物置、温室、教材園</p>			

千葉市

事業名	千葉市美術館拡張整備		事業年度(期間)	平成29年度～令和元年度
施設名	千葉市美術館 (リニューアルオープン)		開設年月日	令和2年7月11日
敷地面積	2,572.4 m ²	建築面積	1,859.7 m ²	
		延床面積	17,548.9 m ²	
規模・構造	鉄骨・鉄筋コンクリート造(地下1・2階)、鉄筋コンクリート造(地下3階)、鉄骨造(地上1-12階・塔屋)			
総事業費	1,360,784千円		(平成29年度～令和元年度)	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費		1,360,784千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	0	
		地方債	1,343,000	
		その他	0	
	一般財源	17,784		
設置目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため。			
施設概要	<p>【施設の概要・特色】 中央区役所との複合施設であった千葉市美術館について、中央区役所の移転に伴い、美術館へと用途変更する拡張工事を行い、リニューアルオープンした。 今回の拡張工事に伴い、常設展示室のほか、ワークショップや子どもアトリエなどが新設され、子どもから大人までアートを身近に感じられる施設へ生まれ変わった。</p> <p>【主な内部施設】 講堂、市民ギャラリー、講座室、企画展示室、常設展示室、ミュージアムショップ、ワークショップルーム、子どもアトリエ、市民アトリエ、図書室、さや堂ホール、カフェ、ショップ、バル等</p>			

横浜市

事業名	みなとみらい21中央地区20街区MICE施設整備運営事業		事業年度(期間)	平成27年12月～令和22年3月 (設計・建設・維持管理)
施設名	横浜みなとみらい国際コンベンションセンター(通称:パシフィコ横浜ノース)		開設年月日	令和2年4月24日
敷地面積	約21,000㎡		建築面積	約20,400㎡
			延床面積	約46,300㎡
規模・構造	地上6階、地下1階、高さ約36m			
総事業費	36,906,828千円		(平成27年度～令和21年度) ※PFI事業契約金額(変更後)	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費		千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金		
		地方債		
		その他		
	一般財源			
設置目的	MICE施設			
施設概要	<p><施設概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・MICE施設の機能と質の充実のため、パシフィコ横浜の隣接地であるみなとみらい21中央地区20街区にPFI事業により整備を行い、2020年4月24日開業。 ・国内最大規模となる大型多目的ホールと大中小42室の会議室は、3,000名規模の会議が開催可能。 ・多目的ホールは、約6,300㎡、無柱・床面カーペット仕様、8分割が可能で、約300～6,000名まで対応可能。 <p><施設内容></p> <p>多目的ホール、大・中・小会議室(42室)等</p>			

川崎市

事業名	等々力緑地再編整備推進事業		事業年度(期間)	平成27年度～令和2年度
施設名	等々力球場		開設年月日	令和2年10月10日
敷地面積	37,713.31㎡ (建築基準法上の仮想敷地)		建築面積	6300.48㎡
			延床面積	11,980.10㎡
規模・構造	鉄筋コンクリート造、プレキャスト鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上3階建て			
総事業費	8,887,616千円		(平成27年度～令和2年度) (老人いこいの家を除く。)	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費		7,679,390千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	1,728,550	
		地方債	5,997,000	
		その他	0	
	一般財源	1,162,066		
設置目的	昭和42年に高校硬式野球の選手層の拡大や技術の向上を目的に供用開始した施設の老朽化等による全面改築			
施設概要	<p>硬式野球場は、高校硬式野球の選手層の拡大や技術の向上を目的に昭和42年に供用開始し、収容人員は4,000人で、高校生による硬式野球の練習や大会、社会人野球の大会、首都大学リーグ、一般の方々の練習・試合などに利用されていた。</p> <p>施設の老朽化、収容人員の拡大、防球対策、施設の機能向上と諸室の整備などが指摘されていたことから、全面改築を行った。</p> <p>建物機能：観覧席、防災備蓄倉庫など</p> <p>収容人数：9,279人</p>			

相模原市

事業名	相模原スポーツ・レクリエーションパーク整備事業		事業年度(期間)	平成25年度～令和6年度
施設名	相模原スポーツ・レクリエーションパーク		開設年月日	令和2年11月14日 一部供用開始
敷地面積	100,000.00m ² (管理面積)		建築面積	- m ²
			延床面積	- m ²
規模・構造				
総事業費	4,067,644千円 (平成25年度～令和6年度)※事業費及び財源は整備中の為、現時点での見込額			
(決算額・決算見込額)	うち、建設費※工事請負費のみの概算額		3,272,364千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	1,383,748	
		地方債	1,820,650	
		その他	7,020	
	一般財源	856,226		
設置目的	「誰もが気軽に利用できる 駅近・身近なスポーツ・レクリエーション交流拠点」をコンセプトに、在日米陸軍相模総合補給廠共同使用区域内に都市公園法(昭和31年法律第79号)に基づく都市公園(運動公園)として整備中(全面供用開始は令和6年度予定)			
施設概要	<p>ア スポーツゾーン 利用者の利便性及び安全性に配慮し、敷地の東西両端2箇所に配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 人工芝グラウンド(令和3年4月1日供用開始) 軟式野球場(人工芝)(令和5年度供用開始予定) <p>イ レクリエーションゾーン 敷地の中央に様々な遊びや市民の交流等に利用できる施設を配置</p> <ul style="list-style-type: none"> 芝生広場(約1.4ha・野芝)(令和2年11月14日供用開始) 遊具広場(令和2年11月14日供用開始) <p>→車いすでアクセスできる砂場やチョークでお絵描きできるあおぞらキャンパス、3×3バスケットコート、健康遊具など、ユニバーサルデザインに配慮し、体をたくさん動かすことができる遊具を中心に設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ボール遊び広場(野芝)(令和4年度供用開始予定) →市内初のボール遊びに特化した広場を暫定整備 管理棟、駐車場(令和6年度供用開始予定) 			

新潟市

事業名	ふるまち庁舎整備事業		事業年度(期間)	平成30年度～令和2年度
施設名	ふるまち庁舎		開設年月日	令和2年5月7日
敷地面積	5,221.26㎡		建築面積	3,653.80㎡
			延床面積	32,839.70㎡
規模・構造	鉄骨造 12階建 庁舎部分は3階～6階（延床面積11,018.03㎡）			
総事業費	市支出分 4,886,533千円 （平成30年度～令和2年度）			
(決算額・決算見込額)	うち、建設費		321,359千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	0	
		地方債	4,649,400	
		その他	0	
	一般財源	237,133		
設置目的	老朽化した本庁舎について、早期に防災拠点機能を強化するため、市役所機能を一部移転した。加えて移転先となる市内中心部へ様々な移転効果を呼び込み、活力あるにいがたづくりを進める。			
施設概要	<p>市内中心部の古町地区に建設が計画された再開発複合ビル「古町ルフル」の床の一部を購入し、庁舎として使用。</p> <p>6階 建築部 5階 都市政策部、経済部、文化スポーツ部、観光・国際交流部 4階 農林水産部、教育委員会事務局 3階 財務部（税部門）</p>			

静岡市

事業名	認知症ケア推進体制整備事業		事業年度(期間)	令和2年度
施設名	静岡市認知症ケア推進センター “かけこまち七間町”		開設年月日	令和2年10月31日
敷地面積	- m ²		建築面積	- m ²
			延床面積	144.34m ²
規模・構造	鉄筋コンクリート造 地上4階建て (1階部分)			
総事業費	25,622千円		(令和2年度)	
(決算見込額)	うち、修繕費		17,169千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	1,686	
		地方債	0	
		その他	0	
	一般財源	23,936		
設置目的	<p>認知症になっても、本人や家族が希望を持って暮らしていくことができるように、相談や他機関へのつなぎ、関係職種の人材育成や普及啓発、認知症本人や家族の交流や活動支援など、認知症本人やその家族に対して、総合的な支援ができる拠点として設置。</p> <p>利便性の良い、市の中心であるまちなかに設置し、「健康長寿のまち」の先進的なモデル地域づくりとして、モデル地区内に当センターを設置し、一体的に推進することを目的としている。</p> <p>また、運営にあたっては、企業や大学等と連携を行うことで産学官民の連携を推進していく。</p>			
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・所在地 静岡市葵区七間町5-8 (電話：054-204-1541) ・規模 地上4階建ての1階部分、延床144m² ・内容 窓口相談コーナー、健康チェックコーナー、閲覧・交流コーナー、相談室、イベントホール、事務室、調理室、トイレ ・開館時間 9：00～18：00 ・休館日 水曜日、日曜日、祝日、年末年始 ・HPアドレス https://www.city.shizuoka.lg.jp/995_000001_00062.html 			

浜松市

事業名	市民音楽ホール管理運営事業 及び整備事業		事業年度(期間)	平成29年度～令和3年度
施設名	浜松市市民音楽ホール (通称：サーラ音楽ホール)		開設年月日	令和3年6月1日(予定)
敷地面積	30,035.27㎡		建築面積	4,802.20㎡
			延床面積	6,395.51㎡
規模・構造	音楽ホール S造一部RC造地上5階 庇1～4 S造平屋建			
総事業費	4,290,000千円		(平成29年度～令和3年度)	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費		4,082,000千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	0	
		地方債	1,870,000	
		その他	2,221,000	
	一般財源	199,000		
設置目的	市民の音楽文化活動や学習成果等の発表の場を創出することにより、市民の文化の振興を図る。			
施設概要	<p><施設概要> 1階 ホール(舞台・客席)、楽屋4室、控室、多目的室3室、事務室他 2階 ホール(客席)、作業室、音響室、調光室、親子室他 3階 ホール(客席)、音響盤室、調光盤室他 4階 ホール(客席)、機械室他 5階 照明機械室他</p> <p><客席概要> 固定席1,406席、車いす席8席、親子室席7席</p> <p><駐車場> 一般車駐車場398台、バス駐車場10台、思いやり駐車場10台、障がい者駐車場10台、関係者駐車場31台、自動二輪車駐車場6台</p>			

名古屋市

事業名	瑞穂公園再整備（瑞穂体育館の建設）		事業年度(期間)	平成28年度～令和2年度
施設名	名古屋市瑞穂公園体育館		開設年月日	令和3年6月26日
敷地面積	8,800㎡		建築面積	4,422㎡
			延床面積	9,490㎡
規模・構造	鉄骨鉄筋コンクリート一部鉄骨造4階建て			
総事業費	4,453,736千円		(平成28年度～令和2年度)	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費		4,318,989千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	670,286	
		地方債	2,138,000	
		その他	12,893	
	一般財源	1,632,557		
設置目的	屋外運動施設を中心に構成されている瑞穂運動場に、新たに体育館を建設し、市民利用の促進、各種大会の誘致を図る。 災害時の緊急物資集配拠点としての機能も備えることで、災害時における市民の安全・安心を確保する。			
施設概要	<p>大規模な大会を開催するため、第1競技場と同時に利用できる第2競技場を備える。 格技と軽運動に利用できる第3競技場を備える。 第1競技場には、全方向から競技を見ることができる座席を備える。 バリアフリーに配慮し、エレベーターや車椅子席、多目的トイレや多目的更衣室を備える。</p> <p>第1競技場（1,620㎡）、第1競技場選手控席1,144席 第2競技場（805㎡）、第2競技場選手控席100席 第3競技場（510㎡）、第3競技場選手控席100席 会議室3室</p>			

京都市

事業名	京都市美術館再整備事業		事業年度(期間)	平成26年度～令和元年度
施設名	京都市美術館 (通称：京都市京セラ美術館)		開設年月日	令和2年3月21日 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響により3月21日から5月26日までの間は臨時休館
敷地面積	25,383.71㎡		建築面積	8,205.67㎡
			延床面積	18,737.92㎡
規模・構造	本館（既存）鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造＜地下1階地上2階建て＞ 新館（増築）鉄骨造、一部鉄筋コンクリート造＜地下1階地上2階建て＞			
総事業費	12,275,083千円		（平成26年度～令和元年度）	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費		11,135,235千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	532,416	
		地方債	6,822,000	
		その他	4,139,722	
	一般財源	780,945		
設置目的	美術を中心とする文化芸術の振興による市民の豊かな生活の形成に資するため、美術品、美術工芸品その他美術に関する資料の収集、保管、展示等を行うための施設として設置する。			
施設概要	<p>京都で挙行された天皇即位の大礼を永久に慶祝記念する美術館として、財界はもとより、多くの市民の協力を得て、昭和8年（1933年）に日本で2番目の大規模公立美術館として開設した。</p> <p>老朽化の進んでいた本館は、耐震性能の強化や空調・照明設備の全面更新などの展示機能の強化を図りつつ、歴史的な風格は保存したほか、収蔵作品の常設展示室を設置した。</p> <p>また、新たに様々な展示に対応できる現代アートの展示室と収蔵庫を備えた新館を整備したほか、本館西側地下を増設し、地域の活性化や来館者サービスの更なる向上を図るため、エントランス空間やロビー機能を充実させるとともに、カフェやミュージアムショップなどの整備を行った。</p>			

大阪市

事業名	長居球技場の寄附収受		事業年度(期間)	令和3年4月1日 寄附収受
施設名	長居球技場		開設年月日	昭和62年4月25日
敷地面積	657,000m ²		建築面積	14,827m ²
			延床面積	31,166m ²
規模・構造	鉄筋コンクリート造 5階建て			
総事業費	0千円			
(決算額・決算見込額)	うち、建設費			0千円
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	0	
		地方債	0	
		その他	0	
	一般財源	0		
設置目的	市民の健康増進に寄与するスポーツ施設として設置			
施設概要	<p>【所在地】 大阪市東住吉区長居公園1-1 【電話番号】 06-6609-5658 【ホームページ】 https://www.nagaipark.com/kyugijo/ 【開館時間等】 条例供用時間 9:00～21:00 月曜休館 【規模】 観客収容人数 約2.5万人 【寄附収受に至る経過】 平成27年(2015年)9月29日 セレッソによる長居球技場改修構想発表 ※セレッソ大阪が長居をホームスタジアムとしている 平成29年(2017年)3月14日 桜スタジアム建設募金団体による募金開始 ※市として募金団体へ関与していない 平成30年(2018年)9月27日 「負担付きの寄附の受納について」 大阪市の会 で議決 ※寄附の条件「指定期間を30年と定めて一般社団法人セレッソ大阪スポーツ クラブを長居球技場の指定管理者に指定すること」 平成31年(2019年)3月1日 工事着工 令和3年(2021年)2月25日 「指定管理者の指定について(長居球技 場)」を大阪市の会で議決 令和3年(2021年)4月1日 改修工事完了 募金団体から大阪市の会が寄附を 受納 長居球技場の新指定管理スタート</p>			

堺市

事業名	原池公園野球場整備事業		事業年度(期間)	平成28年度～令和元年度
施設名	くら寿司スタジアム堺		開設年月日	令和2年4月1日
敷地面積	約17.5ha (原池公園全体)		建築面積	約3,418㎡
			延床面積	約6,228㎡
規模・構造	鉄筋コンクリート構造、地上3階建			
総事業費	約2,940,000千円		(平成28年度～令和元年度)	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費			0
総事業費(千円)	特定財源	国県支出金	約941,000	
財源内訳		地方債	約1,640,000	
		その他	0	
		一般財源	359,000	
設置目的	堺市初の本格的な野球場として、市民の皆様が質の高い環境で野球に親しむとともに、全国高等学校野球選手権大阪大会やプロ野球2軍戦など、レベルの高い試合を観戦できる機会を提供する。			
施設概要	<p>【グラウンド】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド面積 13,762㎡ (グラウンド 内野は、黒土 外野は、天然芝) ・両翼100m センター122m ・LEDナイター照明、放送設備有 ・LEDスコアボード <p>【観覧席】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外野人工芝席 2,923㎡ ・収容人数 5,110人 (内野スタンド席3,110人、内野外野芝生2,000人) ・内野黒土 外野天然芝 <p>他、屋内練習場、屋内ブルペン、会議室、更衣室</p>			

神戸市

事業名	新型コロナウイルス感染症患者受け入れのための臨時病棟の整備		事業年度(期間)	令和2年度
施設名	新型コロナウイルス感染症病棟(臨時病棟)		開設年月日	令和2年11月9日
敷地面積	約2,000m ²		建築面積	1640.61m ²
			延床面積	1640.61m ²
規模・構造	鉄骨造			
総事業費	1,100,000千円		(令和2年度)	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費		620,000千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	1,100,000	
		地方債	0	
		その他	0	
	一般財源	0		
設置目的	新型コロナウイルス感染症患者への治療と、神戸市立医療センター中央市民病院における高度医療の提供を両立し、神戸医療圏における市民の安全を継続的に確保できるよう、さらなる感染拡大に備えて、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れに特化した臨時病棟を整備した。			
施設概要	<p>(1) 建物</p> <p>①病床(全36床)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重症個室 14床(集中治療室(ICU)機能を備えた病床) ・中等から重症病床 22床(個室 2床、4床室 20床) ・全床にて重症患者対応可、全室陰圧対応 <p>②初療室1室、スタッフステーション、資材保管スペース等</p> <p>③臨時病棟に隣接して CT 撮影室、PCR 検査室を設置</p> <p>(2) 事業費(隣接施設含む) 11億円 (病棟建設費 6.2億円、医療機器等 4.1億円、隣接施設整備 0.7億円)</p>			

岡山市

事業名	岡山芸術創造劇場の整備		事業年度(期間)	平成28年度～令和4年度
施設名	岡山芸術創造劇場		開設年月日	令和5年夏頃
敷地面積	-		建築面積	- m ²
			延床面積	約19,600m ²
規模・構造	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造 地下2階、地上6階 ※第一種市街地再開発事業によって整備される建物の一部（保留床）を、市が文化芸術施設として取得する。			
総事業費	23,493,556千円		(平成28年度～令和4年度)	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費			0
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	21,144,000	
		地方債		
		その他		
	一般財源		2,349,556	
設置目的	市民の自主的な文化芸術に関する活動を促進し、岡山の文化芸術の一層の発展及び新たな文化芸術の創造を図るとともに、広域的な交流を促進し、まちのにぎわいの創出につなげ、もって心豊かで活力のある地域社会の実現に寄与する。			
施設概要	大劇場（1,750席程度）、中劇場（800席程度）、小劇場（300人程度収容）、大練習室、中小練習室、工房、ギャラリー、事務室 など その他 オープンロビー、ギャラリー、機械室など			

広島市

事業名	平和記念公園レストハウスの改修		事業年度(期間)	平成30年度～令和2年度
施設名	広島市平和記念公園レストハウス		開設年月日	令和2年7月1日
敷地面積	71,900㎡		建築面積	401.12㎡
			延床面積	1,344.97㎡
規模・構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上3階 地下1階建			
総事業費	1,072,704千円		(平成30年度～令和2年度)	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費		782,245千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	0	
		地方債	0	
		その他	61,200	
	一般財源	1,011,504		
設置目的	被爆の実相を伝え、平和への思いを共有する場となるよう保存・活用を図ると同時に、観光客などへのおもてなしを向上させる。			
施設概要	<p>平和記念公園内では被爆前の面影を残す唯一の建物であり、被爆75周年に当たる令和2年7月1日にリニューアルオープンした。</p> <p>(1) 所在地 広島市中区中島町1番1号 (2) 施設内容 地下：地下室、倉庫等 1 階：観光案内、特産品等の販売、事務室、倉庫、便所等 2 階：休憩・喫茶ホール、休憩・喫茶室、便所等 3 階：展示室、多目的室、便所等</p>			

北九州市

事業名	旧安川邸利活用事業		事業年度(期間)	平成28年度～令和2年度
施設名	旧安川邸		開設年月日	令和3年3月31日
敷地面積	約13,000㎡		建築面積	約880㎡
			延床面積	約1,100㎡
規模・構造	大座敷棟1棟(木造平屋)、本館棟1棟(木造2階)、南北蔵1棟(煉瓦造2階、鉄筋コンクリート造2階)、洋館1棟(木造2階)			
総事業費	827,000千円		(平成28年度～令和2年度)	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費		827,000千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	330,000	
		地方債	375,000	
		その他	100,000	
	一般財源	22,000		
設置目的	本市発展の礎となった歴史的な遺産を保全・活用し、市民が憩い、集える新たな賑わい拠点としての活用を図る。			
施設概要	<p>旧安川邸は、明治期に石炭企業を次々と創業し、工業都市北九州市の礎を築いた企業家である安川敬一郎により、現在の戸畑区一枝・仙水町の開発と並行して明治45年に建設された住宅である。</p> <p>明治45年若松から移築された大座敷棟、南北の蔵、昭和2年竣工の洋館棟、昭和13年竣工の洋風本館棟などが残されている。</p> <p>明治期、大正末期、昭和初期の各時代に建築された建物群が一体的に残され、北部九州における高級住宅史上極めて重要な住宅建築であることから、北九州市指定文化財に指定されている。</p>			

福岡市

事業名	福岡市第2期展示場等整備事業		事業年度(期間)	平成30年度～令和18年度
施設名	マリンメッセ福岡B館		開設年月日	令和3年4月1日
敷地面積	17,455㎡		建築面積	10,051㎡
			延床面積	11,430㎡
規模・構造	鉄骨造 2階建			
総事業費	10,560,000千円		(平成30年度～令和18年度)	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費		7,110,000千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	105,000	
		地方債	0	
		その他	0	
	一般財源	10,455,000		
設置目的	MICEの機能強化及び競争力向上の為、マリンメッセ福岡B館（第2期展示場）他の整備を行う。			
施設概要	<p>福岡市第2期展示場等整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡市第2期展示場及び立体駐車場をPFI方式による整備 ・PFI法に基づき事業者が施設の設計・建設を行い、市に所有権移転をした後、維持管理業務を行うBT0方式（Build-Transfer-Operate）により実施 ・マリンメッセ福岡B館（第2期展示場） 諸室：多目的展示室（5,000㎡）、会議室2室、エントランスロビー、控室7室他 <p style="margin-left: 20px;">（立体駐車場（令和2年5月供用） 規模、構造：鉄骨造、5階建（5層6段） 諸室：駐車台数790台、管理室、トイレ他）</p>			

熊本市

事業名	(仮称) 特別支援学校小・中学 部建設その他改修工事		事業年度(期間)	平成27年度～令和元年度
施設名	熊本市立あおば支援学校		開設年月日	令和2年4月1日
敷地面積	4,507㎡		建築面積	1,369.51㎡
			延床面積	3,324.26㎡
規模・構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建			
総事業費	1,500,128千円		(平成27年度～令和元年度)	
(決算額・決算見込額)	うち、建設費		1,411,577千円	
総事業費(千円) 財源内訳	特定財源	国県支出金	418,565	
		地方債	870,600	
		その他	0	
	一般財源	210,963		
設置目的	知的障がいのある児童生徒への専門的指導や就学・進学ニーズに応えるため			
施設概要	<p>【施設の概要】 知的障がいのある児童生徒への専門的指導や就学・進学ニーズに応えるため設置された知的障害特別支援学校であり、小学部と中学部を各学年1学級設けている。</p> <p>【特色】 ・城東小学校、藤園中学校と隣接しており児童生徒の日常的な交流及び共同学習が可能。 ・児童生徒一人に一台タブレット端末 (iPad) を配布している。また、各教室に電子黒板、実物投影機を設置している。</p>			